

平成21年度九州史学会大会の御案内

謹啓 皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、来る12月12日(土)、13日(日)の2日間にわたり、平成21年度九州史学会大会を下記の要領にて開催致すはこびとなりました。ご多忙の折りとは存じますが、本学会の一層の発展のため、ふるってご参会下さいますようご案内申し上げます。 敬具

九州史学会大会次第

於九州大学

12月12日(土) 公開シンポジウム

九州大学中央図書館視聴覚ホール(午後1時30分より)

「九州大学所蔵の史資料—過去・現在・未来—」

共催：はごろもプロジェクト(九州大学法文学部85周年/文学部60周年記念事業)

後援：九州大学附属図書館

九州大学考古学資料

九州大学 宮本一夫

九州大学キャンパス内の埋蔵文化財資料について

九州大学 田尻義了

九大資料保存体制について—檜垣文庫等の整理と管理を通じて—

九州大学 吉田昌彦

九州大学所蔵の古文書について

九州大学 高野信治

九州大学所蔵の漢籍について

九州大学 竹村則行

コメント—大学における史資料保存について—

九州大学 後小路雅弘

懇親会 福岡リーセントホテル(〒812-0053 福岡市東区箱崎2-52-1)(午後6時30分より)

会費5,000円

12月13日(日) 研究発表

(午前9時より)

〈日本史部会〉(法文系講義棟102番教室)〈午前9時30分開始〉

中世日朝関係における前期受職人とその変遷

九州大学 松尾弘毅

幕末期の国内政治情報と北部九州

—筑前国黒崎桜屋・豊前国小倉村屋の「注進」行為について—

九州大学 守友隆

明治初年における軍事と地域—鎮台兵補欠招集を事例に—

九州大学 鮎本高志

《特集》「九州帝国大学法文学部の国史学」〈午後2時より〉

共催：はごろもプロジェクト

九州帝国大学法文学部の成立

九州大学 折田悦郎

九州帝国大学法文学部入学者におけるその〈正系〉と〈傍系〉

—朝鮮半島出身者の動向を手掛かりに—

佐賀大学 永島広紀

長沼賢海氏の中世史研究

九州大学 佐伯弘次

九大時代の竹岡勝也

九州大学 山口輝臣

国史学研究室での学生生活—渡邊正氣氏を囲んで—

〈東洋史部会〉(法文系講義棟204番教室)

漢帝国の統治構造と統治思想の展開—刺史・州牧の検討を中心として—

九州大学 植松慎悟

箱崎遺跡出土の墨書陶磁器について

九州大学 小野裕子

劉辰翁の評点と科挙

九州大学 奥野新太郎

明末東南沿海の海商と海寇—泉州・漳州・潮州地域を中心として—

九州大学 白井康太

南京国民政府期における言論の自由に関する一考察

熊本大学 福田愛子

秦漢時代における郷里社会の変質と地方統治制度の推移

—地方行政史上における武帝・昭帝期の再検討—

埼玉大学 安藤太郎

鮮卑拓跋氏の南下伝説と神獣

東北大学 佐藤賢

清代における宗族制度下の土地建物所有—蘇州洞庭東山王氏を中心として—

九州大学 箕浦永子

清末預備立憲時期における地方財政機関の改編

広島大学 土居智典

清代後期、四川省南部県における場市の設立と県衙門

—『南部県档案』を材料として—

山口大学 滝野正二郎

中国「改革開放」の国際的契機

九州大学 益尾知佐子

稻荷山古墳鉄剣銘文と漢・北魏・元の「内朝」

九州大学 川本芳昭

＜朝鮮学部会＞（法文系講義棟202番教室）＜午前9時30分開始＞

朝鮮中宗代後半における僧徒管理体制の再構築 一号牌の発給を中心として—	九州大学	押川信久
新羅興徳王代の唐制導入に関する考察	九州大学	立花大輔
清代北京における朝鮮と琉球使節の交流	九州大学	沈玉慧
清代鴨緑江流域の開発と国境管理	北九州市立大学	山本進
鶴城李氏の家門形成と蔚山	茅ヶ崎高等学校	中田稔
李承晩ラインの解体	姫路高等学校	藤井賢二

《シンポジウム》「中近世の朝鮮半島と東アジア海域」＜午後2時10分より＞

共催：文部科学省科学研究費補助金特定領域研究《東アジアの海域交流と日本伝統文化の形成》中近世朝鮮班

高麗・宋通交をささえた海の知識と技術	九州大学	森平雅彦
15・16世紀朝鮮の「水賊」—その基礎的考察—	東京大学	六反田豊
15世紀朝鮮・南蛮の海域交流—成宗の椒種求請一件から—	東京大学	村井章介
朝鮮総督府『漁船調査報告書』にみる植民地期朝鮮伝統船	天理大学	長森美信

＜イスラム文明学部会＞（法文系講義棟203番教室）＜午前10時30分開始＞

ワッター朝第三代スルターン＝アブー・ハッスーンの廃位をめぐる諸問題	京都大学	篠田智暁
「福岡マスジド」について語るということ—人類学における発話の問題をめぐる—	九州大学	生田篤
18世紀バンダレ・アッパーズのバニヤ商人		
—イギリス東インド会社のブローカーを中心に—	神戸大学	大東敬典
イラン古代史と近代イラン	北海道大学	守川知子
サファヴィー朝後期の首都と儀礼	関西学院大学	後藤裕加子
前王朝期サファヴィー家によるサイド血統の主張—研究の軌跡と新史料の紹介—	東京大学	森本一夫
『宰相たちの歴史』再考—写本と刊本の間—	九州大学	清水宏祐

＜西洋史部会＞（法文系講義棟301番教室）

10世紀の書記と在地社会	九州大学	法花津晃
ラムジ修道院の騎士達	佐賀大学	都築彰
ポルトガル啓蒙改革の企図		
—新キリスト教徒系知識人リベイロ・サンジェスの寛容論と教育論を通して—	大分県立芸術文化短期大学	疇谷憲洋
1870年代ミズーリ州における「納税者の反乱」		
—アメリカ的地域財行政の特質に関する一考察—	熊本大学	三瓶弘喜
第1次世界大戦後ブルガリアの危機と政党政治の変動	九州大学	岡部直樹
両大戦間期スイスにおける観光業の危機とホテルプラン協同組合	大阪大学	森本慶太

＜考古学部会＞（法文系講義棟101番教室）

縄文階層社会論の来し方と行方	島根大学	山田康弘
AMS年代測定法の考古学的利用の諸問題	九州大学	田中良之
朝鮮半島南部無文土器時代C14年代の検討	九州大学	端野晋平
邪馬台国九州説批判		渡邊正氣
土器製作技術からみた文化変容過程—弥生時代開始前後の北部九州を対象として—	九州大学	三阪一徳
弥生時代北部九州における石器の消費形態—今山系石斧を中心として—	九州大学	森貴教
北部九州における弥生時代の鏃	福岡県教育庁	城門義廣
色からみた弥生時代容器体系の動態—北部九州地域を中心に—	九州大学	石田智子
日田地域における弥生集落の動向	日田市教育委員会	渡邊隆行
広口壺からみた弥生時代中期後半の地域性—中東部瀬戸内地方を中心として—	笠岡市教育委員会	西江幸子
エルサルバドル共和国における文化遺産の保護と活用	九州大学	村野正景

当日は、入口の各部会受付にて、参加費1,500円（2日間）をお支払いください。

なお、本大会出席のため、所属機関への出張依頼を必要とされる方は、下記事務局までご連絡下さい。

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1 九州大学文学部九州史学会事務局（日本史学研究室） 電話 092-642-2375

E-mail: shigakkai@lit.kyushu-u.ac.jp; <http://www.lit.kyushu-u.ac.jp/shigakkai/>